

みなさんと
力をあわせて
実現したい



三宅村議会議員

平川大作 3つの提案

1 島外医療機関受診の 交通・宿泊費補助を

たった1回の受診でも数万円かかる都内医療機関受診時の交通費・宿泊費は大きな負担です。他の多くの島で実施されているような補助を三宅村でもぜひ実施させましょう。

各島の補助の主な内容 (日本共産党島嶼議員団調べ)

大島	交通費4000円、宿泊費3000円、回数制限なし(町予算の限度内)
利島	一律7000円、年6回
新島	交通費・宿泊費各4000円、年4回
神津島	交通費片道2000円、宿泊費3000円、年10回

平川大作議員の政策と活動についてお知らせします。



2020年1月号外
日本共産党三宅支部
電話/FAX 6-0132

2 補聴器の購入費用の 一部助成実現を

難聴の問題が近年重視されているのは、認知症の予防にもつながるからです。正しく調節された補聴器を使えば難聴は改善されますが、補聴器は非常に高価です。



購入費助成が実現するよう力を尽くし、党都議団とともに東京都にも迫っていきます。

※日本共産党都議団は「きこえのバリアフリー」化を東京都に求めています。

www.jcp-tokyo.net
島しょ/三宅島のページ



3 発電所の後継施設は 自然エネルギーで

津波被害が予想される大久保浜の発電所の建て替えは、太陽光や風力などの自然エネルギーを利用したものにするよう求められています。



平川大作(ひらかわだいさく)略歴

1955年静岡県生まれ。4歳から三宅島育ち。坪田小、坪田中、三宅高校卒。都内で修行後、島に戻り工務店経営。通称「大工の大ちゃん」。2008年より三宅村議会議員(3期)。現在、村議会総務文化常任委員長。家族は妻と2男2女。柔道初段。釣りが大好き。

日本共産党

村のみなさんの声にこたえ

平川大作は がんばります



みなさんの声に耳を傾け、村政の場に届けることは、私の議員活動の原点です。

「島を出るか、命を捨てるか。こんな酷い選択が許されるのか！」—前村長にきびしく迫り、みなさんとともに要求した人工透析が桜田村政の誕生によって実現したことは、私の議員活動のなかでも大きな確信となっています。

これからも、みなさんの願い実現に奮闘します。

新しい遊具やトイレの設置を実現しました

「こどもの遊び場が少ない」というお母さんのつぶやきを議会質問でとりあげ、「1地域1カ所の遊び場確保、遊具の設置」を求めました。湯の浜にも新しくトイレが設置され、喜ばれています。



旧坪田小に設置された遊具と湯の浜のトイレ

バス停に噴石シェルターがつくれます



写真は鹿児島県桜島のバス停を兼ねたシェルター（内閣府ホームページより）

前回の噴火から20年。万一の避難の際はバスを待つことになるため、待機できるスペースが必要だということを当時の消防団での経験からも痛感していました。議会の質問でシェルターの設置を求め、村としても優先的にバス停に整備していくことが決まりました。

村議会でも主張しました

広尾病院は 東京都の直営で

経営の効率化や採算性などが強調される「独立行政法人」で、島の医療は守られるのか。東京都が直接責任を負う、都立直営の堅持を三宅からも求めていこうと、村議会で訴えました。

小池都知事がすべての都立病院を独立行政法人化すると表明したことで、この問題は7月の都知事選挙の大争点になるとも言われており、ひきつづき声を上げていきます。



署名へのご協力
お願いします

2020政治を変える一歩を三宅から **日本共産党**

「桜を見る会」幕引き
ゆるすな

税金を使った公的行事に後援会員らを多数招待し「接待、したとされる疑惑は未解明のまま。徹底した追求と調査でウソとごまかしを暴きます。

政権交代で
安倍政治に
サヨナラを

10月の消費税増税に続き、年金引き下げや医療費の負担増を狙い、改憲の野望も隠さない安倍政権。なんとしても退陣に追い込みたいと思います。

1/25(土) 吉良よし子参議院議員  を迎えて「つどい」開催(午後1時~リスタホール)